

平成 26 年 11 月 14 日

春日井市企画政策部
部長 前川 広 様

NPO 法人高蔵寺ニュータウン再生市民会議
理事長 藤城 栄一

藤山台小学校跡地利活用についてのご提案

校舎等の利活用の全体コンセプト

少子高齢化を迎えたここ藤山台地域の小学校の空き校舎と運動施設は市にとっても地域にとってもその利用価値は計り知れないものがあると考えます。その利用に際して、多数の意見とアイデアを取り入れて検討し、あらゆる人々にとって魅力ある施設に改修することは市民の大いなる願いでもあります。またこれが将来起こりうる他の地域での再編などの先進的な例となるよう、多方面の意見を取り入れながら検討されることを願います。

我々、高蔵寺ニュータウン再生市民会議（以下、再生市民会議）は、こうした機会に「まちづくり」という視点から、こうあってほしいと思う校舎の姿を、また校舎の使い方に対するコンセプトを下記のようにご提案いたします。

1. 地域に開かれた自由で使いやすい施設を目指す。（参考図 1）
 - ・アプローチが容易な出入口の確保。
 - ・公共の交通機関にも配慮した大型バスなどの駐車スペースの確保。
 - ・多人数の利用にも対応でき、かつ目立たないように道路面から高い位置に設けられた駐車スペース。
2. 誰もが行きたくなるような楽しい雰囲気を作る。（参考図 1）
 - ・アプローチに工夫を凝らし、行ってみたいくなるような環境を作る。
 - ・誰もが行くことができる集客施設は前面に出し、魅力ある施設にしたい。
 - ・校舎・教室全体を繋ぎ一体感と利用のしやすさを考慮した補助施設（庇）づくり。
 - ・地域の人が管理するお花畑で魅力づくり。
3. ユニバーサルデザインの徹底。（参考図 1）
 - ・バリアフリーの徹底により誰もが使いやすい施設とする。
 - ・施設の改修や補助施設の増設（コミュニティーカフェ、エレベーター、シャワー室など）により、より使用しやすく利便性の高い施設を目指す。
4. 合理的で全体のつながりがよくわかる各ゾーンの配置。（参考図 2）
 - ・各運営者の特性を把握し、無駄のない各階、各教室のゾーニング。
 - ・使い勝手をよく把握したセキュリティーとそのゾーニング。
 - ・施設全体の管理機能や窓口機能をもつ総合事務所の適切な配置。（参考図 1, 3）
5. 防災機能を併せ持つ施設とする。
 - ・防災拠点としての設備、倉庫（仮設トイレなども）などの確保、強化をする。

次に、事業として再生市民会議は実際何が出来るか、どのように運営・利用していくかなどの考えについて、別紙の通りご提案いたします。

旧小学校施設利活用の詳細について

NPO法人高蔵寺ニュータウン再生市民会議 ご提案事業内容

利活用する小学校	<input checked="" type="checkbox"/> 藤山台小学校（旧藤山台東小学校） <input type="checkbox"/> 西藤山台小学校 <input type="checkbox"/> どちらでもよい
利活用部分	<input checked="" type="checkbox"/> 教室 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> グラウンド <input type="checkbox"/> プール
事業概要	<p><生活支援事業の実施></p> <p>地域住民が抱えているさまざまな問題や悩み事、また住宅に関する各種の相談の窓口を設け、さらに市民の豊かで楽しい生活の充実を目指した生活支援事業を行っていく。</p> <p>1. 市民の住まいの問題に対しその相談・調査業務を行う。</p> <p>耐震の相談はじめ、改修、増築、改築などの計画、設計、工事に伴う悩みごとや相談事業を行う。また空き家の利活用などについても企画提案する。この事業は、他の NPO と連携して各種の生活相談の一環として対応していく計画とする。</p> <p>・相談コーナーは他の NPO などとスペースを共用することで、住宅相談のみならず、多様な相談に対応する。（参考図 3）</p> <p>2. 教室を利用した場所提供事業（市民みんなが使える市民ギャラリー、市民多目的工房、市民講座など）を行う。</p> <p>3. 市民のニーズにこたえるようインターネットによる情報ネットワークの構築と発信およびその運営の基地とする。その場所として施設全体の事務管理機能のスペースを他の NPO などとシェアするが、再生市民会議の窓口になる。（参考図 3）</p> <p>例：1）ネットを使ったさまざまな市民の交流、情報交換。</p> <p>現在も「高蔵寺ニュータウン便利帳」としてサイトの開設を準備している。</p> <p>2）シルバーセンターとして、登録や雇用紹介の窓口業務も行う。</p>

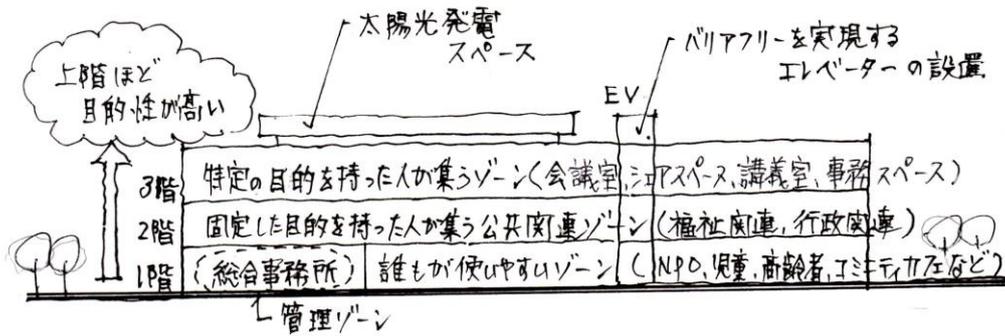
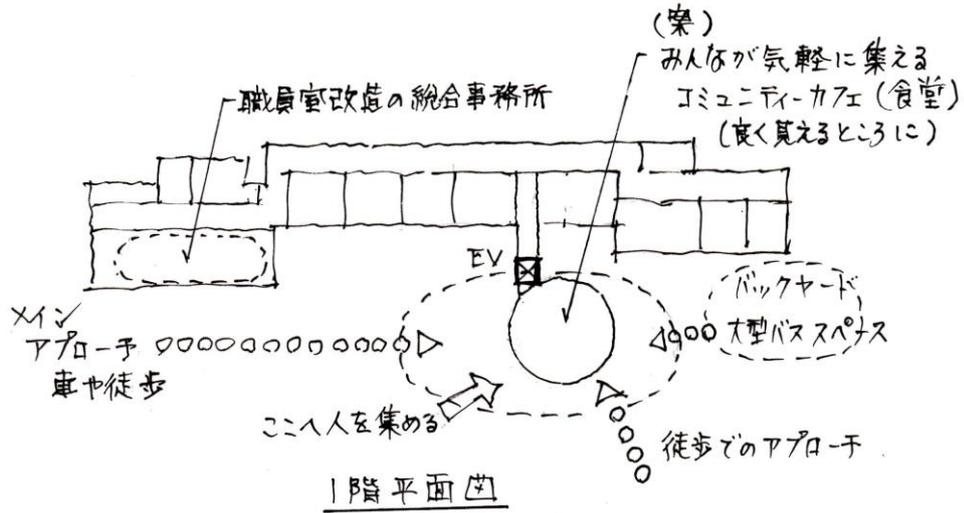
<p>事業概要</p>	<p>4. 各種 NPO と協働してイベントを企画提案する。住民との懇談会や、テーマを決めた講演、講義などを行う。</p> <p>例：現在も開催している「どんぐり s カフェ」やティーパーティに該当する。</p> <p>5. 市民が自由に集えるコミュニティーカフェ（カフェや食堂など）への企画提案および運営協力。</p> <p>例：高蔵寺ニュータウン周辺の農地の農作物や四季折々の新鮮な野菜を中心にした食事会や芋煮会を開く。</p> <p>6. 「みんなの図書室」の開設</p> <p>高蔵寺ニュータウンの一つの特徴として、個性的な人や専門知識を持った人が多いと思われる。そこで個人が持っている処分に困っている蔵書（自然、宇宙、動物、植物、美術、音楽などの個性的な趣味の本、あるいは絵本・児童書やアニメなど）を寄贈してもらい。市民に公開する。</p> <p>注1：上記1、5、6は他の事業者との協働による。</p> <p>2、3、は再生市民会議の単独事業を考えている。</p> <p>注2：その他の案として「地区社協と共同で、ミニディサービスの開設」や「上階に、高齢者ホーム」などの案が考えられるが、上記1～6の項目を含め、今後、さらに詳細に検討することで事業化が適切かどうかを検証していく。</p>
-------------	--

<p>事業計画等</p>	<p>①施設（一部）の開設日及び時間 1 週間当たり 3～5 日程度開設 10 時 00 分から 17 時 00 分まで開設</p> <p>②1 日あたりの利用見込人数 30 人（使用するスペース全体として）</p> <p>③施設（一部）の利用料金徴収の有無 有料（一部無料）</p> <p>④利用場所の改修費用の財源について 公共性の高い事業を目指しているので下記のイニシャルコストについては本市にお願いするが、意向に沿い検討する。 1. 市民ギャラリーとして利用できるよう改修および備品費。 2. 市民工房としての改修および備品費。</p> <p>⑤運営費の財源について 1. 公共性が高い場の提供を目指しているので、そのスペース（市民ギャラリー、市民工房など）の適切な使用料や会員制（有志がクラブを作る）として定額の収入を見込む。</p> <p>⑥その他詳細 当 NPO は会員数約 60 名の規模で、さまざまな話題を提供するどんぐり s カフェ（講演会、講義、懇話会）を毎月開催し、また住宅相談会あるいはイベントなどを実施してきた。その経験を活かし、まちづくりや住民に必要なさまざまなサービスの提供を計画する。</p> <p>1. 人員配置計画 事業の一部は独自の運営とするものの、他の部分については、同種の NPO との協働、協力により、担当を輪番制にするなどして、運営などに携わる計画とする。 市民ギャラリーや市民工房、市民講座、図書室用として 2～3 教室程度を使用したい。その人員は専任の担当者を適時配置する。</p>
--------------	---

事業計画等	<p>2. 運営費について</p> <p>収入は上記⑤によるが、支出はボランティアを主とし、低額で適切な金額に抑える計画とする。</p>
事業の特徴及び地域への波及効果等	<p>・まちづくりの NPO としての 6 年間の実績を踏まえ、生活支援事業として、主に住宅相談、困りごと相談などの相談事業、ギャラリー、工房などの施設提供を通し、近隣地域住民のみならずニュータウン全域の住民に対し、各種サービスの提供やスペースの提供、さらに各種イベントを企画して住民の交流はじめ文化的向上を目指す。</p> <p>また、インターネットによる情報ネットワークの構築により、住民の情報交換の場づくりや各種情報の提供、相談窓口の提供、あるいは就業の機会づくりなどの発受信基地として住民の利便性を高め、より住みよい街にすることを旨とする。</p>
連絡先	<p>住所 春日井市中央台 6-10-19</p> <p>団体名 NPO 法人 高蔵寺ニュータウン再生市民会議</p> <p>理事長 藤城 栄一</p> <p>電話番号 0568-94-0119</p> <p>Eメールアドレス</p> <p>担当者名 (団体の場合) 長谷川光男 (TEL : 0568-91-3168)</p>

(参考図2)

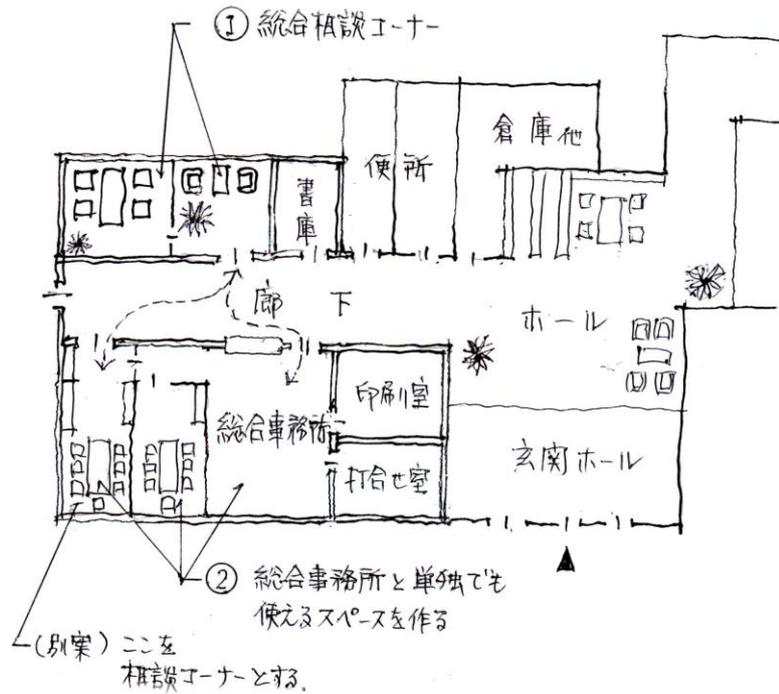
< 校舎利用のコンセプト >



断面図

(参考図3)

参考図 <総合事務所および総合相談コーナーのレイアウト> 案



1階平面図

- ①施設全体の総合的な相談コーナーを設ける。
住宅相談やさらには生活全般の相談に対応すべく、各 NPO が協働して運営していく総合相談コーナーを設け、これを総合事務所に近接または隣接させる。
- ②旧職員室を施設全体の総合事務所とし、その内部をシェアして担当する各 NPO が単独でも使えるようにする。